

令和2年度 第1回我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会代表者会議 議事録

1 会議の名称	令和2年度第1回我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会 代表者会議
2 開催日時	令和2年7月30日(木)午後2時00分～午後3時00分
3 開催場所	我孫子市役所 分館大会議室
4 出席者	<p>委員:17名 椎名委員(我孫子市民生委員児童委員協議会)、水田委員(千葉地方法務局柏支局)、渡邊委員(柏児童相談所)、茅野委員(我孫子警察署生活安全課)、鈴木委員(我孫子医師会)、海老原委員(我孫子市私立保育園連絡協議会)、水野委員(我孫子市私立幼稚園協会)、藤本委員(我孫子市主任児童委員)、菅藤委員(柏人権擁護委員協議会)、辻委員(弁護士)、小池委員(精神科医)、湯下委員(我孫子市社会福祉協議会)、竹本教務主任(我孫子市小中学校校長会・小林委員の代理)、森下養護教諭(我孫子市小中学校校長会・稲村委員の代理)、八巻指導主事(教育研究所・遠藤委員の代理)、三澤委員(社会福祉課)、森委員(議長 子ども部長)</p> <p>事務局:5名 子ども相談課長 阿部政人、主査長 山口綾子 主査 宮路進也、主任 山梨陽子、主任 山口道明</p>
5 欠席者	欠席者 吉水委員(松戸健康福祉センター)、水田委員(我孫子市歯科医師会)
6 議題	(1) 令和元年度子ども虐待防止活動の報告について (2) 令和2年度地域協議会年間活動予定について (3) 緊急事態宣言中の子どもの安全確認について(報告)
7 公開・非公開の別	公開
8 傍聴人の数	1名
9 会議の内容	<p>1 開会 2 市長挨拶 3 委員紹介 4 議事</p> <p>(1) 令和元年度子ども相談課 実績報告(相談受付対応状況、実務者会議開催状況、個別支援会議開催状況、実務者会議と代表者会議の説明)を事務局より行った。</p> <p>(委員から質問) 菅藤委員から質問: 晴香園について、一度に7日間までという利用期間を超えてもなお、家庭環境が変わらずに子どもを預ける必要がある場合、特例措置等はあるか。他市も利用しているということで、晴香園側が満室で受け入れできない場合はどうなるか。また、預けている間の学校の扱いはどうなるか。 事務局から回答: 子どもを預ける理由にもよるが、柏児相と連携し、必要に応じて子どもを保護してもらうなどの対応をとっている。満室の場合もあるので、保護者には早めの予約を促している。預けている間の学校はお休みをとることになる。 森議長より: 資料に延べ人数という記載があるが、実際に利用した人数は何人か。 事務局から回答: 11名です。</p> <p>(2) 令和2年度地域協議会年間活動予定について、事務局より説明を行った。</p>

(3) 緊急事態宣言中の子どもの安全確認について、家庭訪問等による確認の他、関係機関と連携して見守りを行ったことについて事務局より説明を行った。

(委員から質問)

湯下委員から質問:

今回の市原市の虐待死の事件について、数年前にも子どもがなくなる事件があり、再発防止策を講じたにも関わらず発生した。大田区の事件もあった。悲しい事件があとをたたない中、我孫子市では緊急時にどうやって子どもの命を守っていくか、所管課である子ども相談課職員の意見を聞きたい。

事務局から回答:

我孫子市でも同じことが起きてはならないと肝に銘じて取り組んでいる。現在はケースワーカー4名の体制で、常に情報共有をしている。また、些細なことでも相談し合えるよう関係機関とのネットワークの構築・強化を日ごろから意識している。

椎名委員から質問:

昨年の野田市の事件のような場合、児童相談所は子どもの安全確認のために何人で対応するのか。一人二人では追い返されてしまうような場合、警察官や弁護士が行くなど、対応のマニュアルがあるのか。

渡邊委員から回答:

ケースバイケースで、2名で対応することもあれば大勢で対応する時もある。権限行使の立ち入り調査等が必要となるケースは少なく、そうなる前の段階で子どもの安全確認ができるように努めている。

今回の緊急事態宣言下の安全確認の際、感染が心配だからと直接会うことを拒否されるケースがあったが、柏兎相では親の要望に沿うだけという対応はしていない。確認が必要だという説明をし、合意を得るための努力を惜しまない。虐待の疑いがあるという通告を受けて自治体や児童相談所が訪問する場合、通告受理機関として子どもの安全を確認する責任がある。あくまで目視による確認をしなければならない。自治体によってはタブレット端末を使用して映像による確認ができるような工夫をしているところもあるが、目視が必要としているのは、微妙な表情の動きや、嗅覚など、五感による情報を察知する必要があるからだ。そのため、毅然とした態度で安全確認への協力を要請していて、ほとんどのケースは応じてもらっている。それでも会えない場合はそれなりに何かがあるケース。問題が大きくなる前に、先ほど事務局からあったような、関係機関の連携を強化していくことで、早期に問題を把握し、対応していくことは非常に重要なことだと思う。

森下養護教諭より:

緊急事態宣言中の3月～5月の安全確認について、新年度で担任が変わっていたり、新1年生などで、担任が子どもの顔と名前が一致しないような中、登校日に声掛けをすることでできるだけ子どもの様子の確認に努めた。しかし、子どもとの関係ができていない中でのことなので、家庭の様子など踏み込んだ質問は困難だった。関係機関から情報を得て状況を知ることができたケースがあったので、今後も協力を得ながら連携していきたいと考えている。

森議長より:

難しい状況の中、悩みながらの対応だったことと思う。今後も関係機関で情報共有・連携をしつつ、フォローし合っていけると良いと考える。

5 その他

事務局から

令和2年度第2回代表者会議の日程について

令和3年2月18日(木)14時から 我孫子市議会棟 AB 会議室

6 閉会